

14. 認知症施策

(1)湖東圏域認知症疾患医療連携協議会

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会を実現するために、医療、保健、福祉、介護の関係者および地域がお互いの役割を理解し、有機的に連携を深めることを目的とする。

- ・開催日 平成30年3月2日(金) 13:30～15:30
- ・場 所 湖東健康福祉事務所
- ・参加者 認知症疾患医療センターオアシス、管内医療機関、彦根医師会、介護保険事業者協議会、介護支援専門員連絡協議会、看護協会、訪問看護ステーション、認知症初期集中支援チーム、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、市町行政、湖東健康福祉事務所
- ・検討内容
 - ・認知症患者の医療の状況について
 - ・各機関における認知症施策の取組状況(現状・課題)について
 - ・湖東圏域の認知症施策における課題の整理について

(2)湖東圏域認知症疾患医療連携協議会 事例検討会

- ・目 的 認知症高齢者とその家族の全体像をとらえ、利用者像や課題に応じた適切なアセスメントを通じて、実務能力を高める。
- ・開催日 平成29年5月～30年2月の、原則として毎月第1木曜日 計10回
- ・開催場所 各市町地域包括支援センター等
- ・参加者 湖東健康福祉事務所管内の地域包括支援センター職員
各市町認知症担当職員
認知症疾患医療センターオアシス職員
湖東健康福祉事務所職員
その他、認知症ケアに従事する関係者
5月:17名、6月:17名、7月:13名、8月:16名、9月:20名、10月:17名、11月:19名
12月:11名、1月:18名、2月:15名 実参加者数:67名 延参加者数:163名
- ・内 容
 - ① 事例報告(15分程度)
 - ② 参加者より事例に関する質問
 - ③ 事例の概要の把握
 - ④ 今後の支援計画